

大会要項

- 名称** ピリカモシリセブンズラグビーシリーズ2012 ～第1回北海道バーバリアンズ7'sトーナメント大会～
- 主催** 北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ
- 協催** 秋田ノーザンブレツツラグビーフットボールクラブ、釜石シーウェイブスラグビーフットボールクラブ
- 主管** 北海道ラグビーフットボール協会
- 後援** 財団法人日本ラグビーフットボール協会、関東ラグビーフットボール協会、社団法人定山溪観光協会
定山溪連合町内会

日程

- (1)女子トライアウト
- ① 日 時 平成24年7月21日(土)9:00～12:00
 - ② 会 場 北海道バーバリアンズ定山溪グラウンド
札幌市南区定山溪温泉西2丁目31番2
- (2)代表者会議
- ① 日 時 平成24年7月21日(土)12:00～12:30
 - ② 会 場 定山溪グラウンドクラブハウス内
(注) 代表者の2名は出席のこと。
参加できないチームは、到着次第対応させていただきます。
- (3)試 合
- ① 日 時 平成24年7月21日(土)13:30～17:20
22日(日)9:30～13:30
 - ② 会 場 北海道バーバリアンズ定山溪グラウンド
(決勝戦終了後に、全チーム参加のアフターマッチファンクションを行います)

参加資格

2012年6月30日現在、各都道府県ラグビーフットボール協会に「チーム登録」されたチーム。
但し、合同チームはチーム登録の必要はありません。

選手資格

- (1) 本大会の選手資格は、財団法人日本ラグビーフットボール協会「日本協会規約」及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。
- (2) 選手は満18歳以上の者とし、高等学校在学中(定時制を含む)の者の参加は認めない。
- (3) 財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」等に加入していること。

競技規則

- (1) 2012年度財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の「競技規則(2012-2013)」による。
- (2) 試合時間は7分ハーフ(ハーフタイム1分)、決勝戦のみ10分ハーフとする。
- (3) 規定時間内に勝敗が決まらない場合には、1分間の中断後、前後半5分ずつの延長戦を行うが、先に得点をしたチームを勝者とする。ハーフタイム後は、休息时间なしでサイドを交換する。

罰則

- (1) 参加資格を偽ったり、選手資格のない選手が出場した場合には、当該チームは失格とする。
- (2) その他、所属選手によるスポーツマンシップに反する行為のあった場合。
- (3) 参加チームは、チームスタッフ及びその所属するチームの応援団の行為(レフリー/相手チームへの暴言・会場内での暴力行為等)についても責任を負うものとする。
- (4) 本大会で生じた不規律については、大会規律委員会で協議のうえ処分を決する。

費用

- (1) 大会参加料＝30,000円(代表者会議に於いて徴収)
- (2) 試合中に発生した負傷等の医療費は、各チームの負担とする。

＜参加上の諸注意＞

1. 大会実施細則

- (1) 参加チーム数によるが、プール制とトーナメント制を併用し、プール制の順位により、カップトーナメント、ボールトーナメント、プレートトーナメントに分けて競技を行い、最低3試合が出来るようにする。
- (2) 事前に22名以内で選手登録を行なう。(当日の変更可)
- (3) 当日の試合ごとの登録選手は12名以内とし、その中から選手の交替／入替は3名以内とする。(7人制競技規則による)
- (4) 選手の交替(負傷交替、入替え、出血の一時的交替)は、必ずチームの交替指示者から本部席に告げ、レフリーの許可を得て入退出すること。
- (5) 当日の登録選手全員のドレスチェックを行う。ドレスチェックを経た上で、選手は終日同一の背番号のジャージを着用する。
- (6) 自チームの前の試合のキックオフ時(おおよそ18分前)に、両チームの①その試合のゲームキャプテン、②交替指示者、③セーフティーアシスタントは、本部席に集合すること。この時にメンバー表を提出する。この時点で到着していない選手を「メンバー表」に記入することはできない。
- (7) 出場選手全員は、統一されたジャージ、パンツ、ソックスを着用しなければならない。
- (8) その他、服装規定に違反した選手は出場できない。
- (9) 各チームは二組以上のジャージ(1st、2nd)を持参し、各試合では1番から22番までの背番号のついた統一されたジャージを使用すること
- (10) 背番号を縫い付けた場合には、四隅だけでなくしっかりとジャージに縫い付けて、試合中取れないようにすること。また、縫い付けとプリントの混在は認めない。
- (11) パンツのスリットライン、ソックスの折り返しの不統一は認めない。
- (12) サポーター類を着用する場合にはパンツと同色の物を使用すること。但し、白色のアンダーパンツ、サポーター類は、いずれのパンツにも使用することが出来る。
- (13) ヘッドギア、ショルダーパットに色規制はないが、＜IRBマーク＞の付いたもの以外は着用できない。ドレスチェックは型番などではなく、IRBマークの有無だけで判断を行う。
- (14) ジャージの袖丈より長いアンダーウエアは着用できない。
- (15) プレードタイプ(波型)のスパイクは着用できない。

2. ラグビーマナー

- (1) 参加選手はラグーマンとして相応しい服装、身だしなみを心がけ、以下の着こなしを遵守すること。
 - ・ ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
 - ・ パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。
 - ・ ジャージのエリを内側へ折り込まない。ラグビーはエリのあるスポーツである。
 - ・ ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。
- (2) 水係り、ボール係りはスタッフとして動きやすく、相応しい服装をすること
- (3) 会場内は、グラウンド、更衣室、交歓会会場、その周辺区域を含めて全面禁煙とする。

参加チーム

1. 秋田ノーザンブレッツ(セブンズパートナークラブ・秋田県)
2. 釜石シーウェイブス(セブンズパートナークラブ・岩手県)
3. RKUラグビー龍ヶ崎(セブンズパートナークラブ・茨城県)
4. 神奈川タマリバクラブ(セブンズパートナークラブ・神奈川県)
5. 専修大学(神奈川県)
6. 名古屋クラブ(愛知県)
7. 六甲ファイティングブル(セブンズパートナークラブ・兵庫県)
8. 川南クラブ(セブンズパートナークラブ・宮崎県)
9. JR北海道(北海道)
10. 北海道バーバリアンズ(セブンズパートナークラブ・北海道)